



●図書館コンシェルジュ募集中

現在図書館コンシェルジュ募集中！！興味あるけど図書館コンシェルジュって何？というあなたに、ライム博士からよくわかる解説をお送りします。

コンシェルジュとはフランス語で、「案内役」「総合受付」等の意味を持つ語。様々な質問の総合窓口のような役割。

Q1. 何をする人？

日々課題と格闘する学生の方々。あなたたちしか知らない勉強のコツがきっとあるはず。それを図書館で困っている他の学生にこそっと教える…。そしてもっと図書館がこうなったらいいのにといい夢の実現に取り組む…。そんな活動するのが図書館コンシェルジュ。

Q2. 誰がなるの？

島根大学松江キャンパスの学生の皆さんです。奨励金として、1時間あたり学部生 500 円、院生 800 円を支給します。シフトも自分の都合に合わせて決められます。事前に5時間程度の講習があるから未経験でも大丈夫。

Q3. 何のために？

1 つ目は学ぶ力を向上させるため。教える方も教えられる方もためになります。2 つ目は“働く”を体験するため。大学内で空き時間に体験できます。3 つ目はいつも使う図書館をもっと使いやすくするため。自分の作業は自分でコーディネート出来ます。

◆Contents◆

<トピックス>

図書館コンシェルジュ募集中
 夏季休業中の開館時間と
 長期貸出のお知らせ

<お薦め図書>

「夜行観覧車」

<つぶやきライム>

デジタル化の波に乗る

<1階展示コーナー>

館内企画展示「始まりは旧制松高」



我こそはと思う方や
 もっと詳しく知りたい
 という方は
 図書館内の募集要項を
 check it out！！



今まで
 読めずにいた
 あの本に挑戦する
 チャンス！
 帰省しても返却期日に
 間に合うね

●夏季休業中の開館時間と長期貸出のお知らせ

試験が終われば、待ちに待った夏休み。図書館では夏季休業中、開館時間が変則的になります。詳しくは開館カレンダーやHPを参考にしてください。

また夏季休業中は貸出期間も変わります。学生と教職員に限りませんが、期間中はいつ借りても返却期日が10月1日です。

夏季休業中も大いに図書館を活用してください。

2010年8月							2010年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		
8:30-21:30 通常開館		10:00-17:30 土日祝開館		9:00-17:00 休業期開館 1			休館日 Closed		9:00-19:00 休業期開館 2				

<1階展示コーナー>

館内企画展示

始まりは旧制松高 — 附属図書館 90年のあゆみ —

島根大学の法文学部と総合理工学部。これらの前身にあたる教育機関が旧制松江高等学校です。現在この松高時代を振り返る展示を行っています。これは島大が受け継いだ松高図書館の蔵書の遡及が終わったことを記念して行うものです。図書館の沿革のほか、松高の教授と学生のユニークなエピソード等を掲示にまとめ、関係史料も数多く展示しました。

松高の資料は現代を生きる皆さんも利用可能です。今回の展示を通して島大生のルーツを感じてみませんか。



松高のカードボックス等

<お薦め図書>

『夜行観覧車』 湊かなえ 著

闇を背にキラキラと光を放ち、ゆっくりと回る夜行観覧車。立派なゴンドラ（住宅）はそれぞれの乗客（家族）を乗せ、一定の距離を保ち回り続ける。

高級住宅地という大きな支柱に固定されたゴンドラの中でそれぞれの家族はどんな会話が交わり、何を思いながら生活しているのか…。隣り合わせたゴンドラの窓から垣間見える光景や物音に興味本位に引き付けられ、巻き込まれていく普通の人々の、誰でも持っている「悪意」に辟易としながら目を逸らせない。

最近映画化され話題の『告白』の著者が描くこの『夜行観覧車』の世界は、『告白』に比べ展開に意外性はなく、淡々とした語り口調で綴られているが、それが余計に不気味で恐ろしく、読者をグッと身近に引き寄せていると感じられる。

高台にある高級住宅街に馴染めず「居心地の悪さ」を持ち続ける崩壊寸前の家族、期せずして両親が被害者と加害者になってしまった兄弟、他人の生活に聞き耳を立てる孤独な老婦人。それぞれの視点から自己中心的に描かれるこの家族小説をアナタも隣家をそっと覗くように読んでみてはいかがでしょうか？ (O)

【913.6/Mi39 本館・1F 閲覧室】※現在は新着コーナー



<つばやきライム(7)>

デジタル化の波に乗る

私が学生だった頃の大学図書館と言えば、入口付近にたくさんの木製のカードボックスが並んでいるのが普通で、図書館の主役のような顔をしたこの存在はとても威圧的なものでした。このカードボックスは、図書館にどのような図書があるのかを調べるための目録カードを納めるものです。今ではパソコンでお目当ての図書を簡単に調べることができますが、その当時はカードボックスに張り付いて一枚一枚カードを繰って調べたものでした。目録カードだけでなく、今では雑誌論文や新聞記事の索引もデジタル化されてデータベースとして提供されるようになりました (Academic Resource Bank <http://www.lib.shimane-u.ac.jp/menu2008/resource.asp>)。

資料を探す目録や索引だけでなく、現在では資料の内容そのものがデジタル化されるようになりました。大学での研究に不可欠となった電子ジャーナルは、島大でも約 8,000 誌を契約しています。また今やさまざまな電子ブックが国内外で流通し、図書館でも少しずつ提供を始めました。過去に遡っての電子化も盛んで、アメリカ議会図書館のプロジェクト「アメリカン・メモリー」や国立国会図書館の近代デジタルライブラリーや Google ブックスのプロジェクト等が有名です。これらのデジタル化プロジェクトにより、特に古い時代の貴重な資料の利用が便利になりました。島大図書館でも図書館が所蔵する貴重資料や、地域の個人や機関が所蔵する資料をデジタル化して提供しています (Digital Archive <http://www.lib.shimane-u.ac.jp/0/collection/da/da.asp>)。

デジタルの良さは何と言っても検索のしやすさ、コンテンツへのアクセスの容易さにあります。一方で、電子書籍の閲覧端末は改良されつつあるとはいえ、読みやすさや持ち運びしやすさではまだまだ紙の図書にはかなわないものがあります。当分の間は、調べ物をするときはデジタル資料で、じっくり読みたいときは紙の図書、というような使い分けが必要かもしれません。それぞれの特性を生かして活用してください。 (O)



(みいなちゃん)

図書館の七夕飾り、たくさん短冊が飾られたね。恋の短冊や単位の短冊が多かったかしら。けんさくくんは何かお願い事した？



(けんさくくん)

みんなの願いが叶いますように。…何だか願い事を口に出すのって恥ずかしいな。



(みいなちゃん)

私はお願い事しそびれちゃった。冷房が寒すぎませんようにって書こうと思ってたのに。



(ライム博士)

館内の冷房は一括管理だから微調整が難しいのさ。涼しい図書館には夏休みも一日中居たくなるよ。ただ館内で飲食は禁止だから、昼休憩は館外で取らないといけないね。水分補給は1Fの新聞コーナーで出来るけど、ペットボトルとかのごみはきちんと分別するようにしよう。